

特別支援教育学習指導案

1 単元名 「卒業した先輩の進路に学ぶ」

2 単元について

昨年夏、千葉県特別支援教育研究協議会では「障害のある子どもたちの進路指導の在り方」をテーマに研修会が行われた。各校とも卒業後の進路に向けた指導・支援の方法について共通の悩みが挙げられていた。本校でもここ数年の様子に変化が見られる。知的障害学級に加え、昨年度から自閉症・情緒障害学級が併設され、様々な教育的ニーズに応えるため、学級の経営においても考えるべき課題が増えてきた。

それらの課題の一つとして、「中学校卒業後の進路」がある。これまでの進路の多くは、特別支援学校（高等部・高等特別支援）へ進学するというルートであったように思う。しかし、本校の生徒を見ると、様々な生徒が在籍しており、これまでのような進路が必ずしも適しているとは言えない状況にある。市内の他校においても他にも色々なケースがあるのだろうが、単に障害種だけで分けたり、「みんな一緒に」の名の下に行われる一斉授業の中で片付けられるような内容ではなくなってきている。

本校においては、ここ数年の傾向として特別支援学校（高等部）、高等特別支援学校（職業科のある学校）、普通高校と、進路先も多種多様である。また、普通高校の定時制（夜間部）に進み、3年間の最短で今春卒業、就労を果たした生徒もいる。こうした様々な進路の形を実現した諸先輩の考え方や生き方は、現役の中学生たちにとっては、まさに「生きた教材」に他ならない。こうした生き方の手本である先輩から進路選択に関する考え方や現在の生き方、中学校時代にやっておいて良かったことや、やれば良かったこと等、学べることは多いのではないだろうか。まして、これは同じ学校で学んだ先輩たちの話を聞けるという願ってもない機会である。

進路学習については「総合的な学習の時間」（週2時間）の中に位置づけられ、一斉指導を基本としている。学年全体で行う進路に関わる活動（職場体験、上級学校訪問、入試関連の活動）については、本学級の担当職員と一緒に通常学級に交流し、学習支援に当たっている。

本時の授業では、様々な進路を実現した先輩に進路についての考え方や生き方、また、中学校時代を振り返ってもらい、後輩へのアドバイスを収録したDVDを視聴する。今回視聴した内容をワークシートにまとめ、後日予定されている「上級学校訪問」に向けてそれぞれの個に応じた目標を持てるように指導していきたい。また、いずれは社会の一員として活躍できるよう、ぜひ学んで欲しい内容である。

3 単元の目標

DVDを見て先輩たちから学んだことを今後の中学校生活の中に生かし、卒業後の進路選択に結びつけることができる

4 単元の指導計画（10時間扱い）

学 習 内 容	時 数
・中学校卒業後にはどんな進路があるか、考えてみよう。	2
・卒業した先輩の進路に学ぶ。	1（本 時）
・先輩のアドバイスを参考に、自分の考える進路について調べる。	2
・「上級学校訪問」に向けて（事前・事後学習、掲示活動を含む）	5

5 本時の指導

(1) 目標

- ①卒業した先輩のインタビューを興味・関心を持って視聴することができる。
- ②進路を決める時に大切なことや、中学校時代にやっておいた方が良いことを発表できる。

(2) 個別の目標と手だて

生徒	目標	手だて
A	・先輩の進路先やアドバイスされたことをカードで選ぶことができる。	・インタビューに出てくる用語カードを手元に置いて見ながら教師（T2）と一緒にワークシートを完成する。カードは発表時にも利用する。
B	・先輩が進路先を選んだ理由がわかる。 ・アドバイスの内容を発表できる。	・ワークシートの中に選択式の項目や記述式の項目に分けておき、メモをとりやすくしておく。
C	・先輩が進路先を選んだ理由がわかる。 ・アドバイスの内容を発表できる。	・ワークシートの中に選択式の項目や記述式の項目に分けておき、メモをとりやすくしておく。
D	・各先輩の選んだ進路先が分かる。 ・中学校時代にやっておいた方がよいことを確認することができる。	・各項目について選択肢を多くしておき、ストレス無く答えられるようにしておく。 ・プラス思考で発表できるように教師が励ます。
E	・先輩が進路先を選んだ理由がわかる。 ・アドバイスの内容を確認し、発表できる。	・ワークシートの各項目の選択肢を多くして、答えやすくする。考えることを止めないように、机間指導しながら励ましの言葉をかける。

(3) 本時の展開

過程	学習内容 と 活動	教師の支援及び指導上の留意点 (○：評価【】：方法)						
導入 (5)	<ul style="list-style-type: none"> 卒業後の進路にはどんな選択肢があったか確認する。就職、進学（高校、専門学校、特別支援学校） 	<ul style="list-style-type: none"> 特活ファイルを開いて見てもよい。 ○意欲的に発表しているか。【発表】 卒業生の先輩たちのインタビューを視聴する旨を伝え、期待感が高まるように話す。【T1】 						
展開 (30)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>目標 先輩のインタビューを見て、今やっておきたいことを考えよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 3人の先輩のインタビューをVTRで見る。 <p>Q1：進路先と現在の生活の様子 Q3：中学校時代にやっていた良かったこと Q5：後輩たちに伝えたいアドバイス</p> <hr/> <p>①「特別支援学校（高等部）」 Kさん</p> <p>②「高等特別支援学校（職業科）」 Tさん</p> <p>③「今春、高校卒業後、就職」 Sさん</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートのQ1～5の項目に内容を記入し、自分の意見や感想もまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> どの先輩も共通の質問内容に答える形にする。 <p>Q2：その進路先を選んだ理由 Q4：やっておけば良かったと思うこと</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> 個々の目標に応じ、回答方法を変えたワークシートを配布する。 生徒AはKさんにはよく声をかけてもらい、信頼している。始めから意欲的に活動に参加できるように最初に上映する。 【Aの隣りに座り、カードを準備する：T2】 生徒Eはたくさん覚えることが苦手なので、シンプルな言葉で簡潔に話すKさんのDVDでメモを取れるよう言葉がけをしていく。【T1】 生徒DはKさんを慕っていたので、特に「志願理由」や「後輩へのアドバイス」の部分に注目できるようにシート上に選択肢を多く提示しておく。 生徒Cは最近、Tさんの進学先について興味・関心を強く示しているので、集中して取り組めるよう言葉がけしていく。【T1】 直接の面識はないが、Sさんは生徒Bには今後の生活でモデルとしたい卒業生である。進路選択の理由や中学校時代にやるべきことを中心にワークシートの枠を広めにとっておく。 要所要所でDVDを止めてメモをとりやすくする。 <p>○ワークシートに必要事項がまとめられたか。【対話・机間指導】</p>						
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの課題について確認する。 進路選択に必要な考え方や大切だと思うことを発表する。 次時の予告：上級学校訪問の学習について 	<p>○発表を行う。【挙手・カードを黒板に貼る】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">生徒</th> <th>各項目に対する回答・期待する行動</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td>①、②については前に出て写真やカードを使って発表できる。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">B</td> <td>進路選択をする際の理由や考え方に注目して発表できる。</td> </tr> </tbody> </table>	生徒	各項目に対する回答・期待する行動	A	①、②については前に出て写真やカードを使って発表できる。	B	進路選択をする際の理由や考え方に注目して発表できる。
生徒	各項目に対する回答・期待する行動							
A	①、②については前に出て写真やカードを使って発表できる。							
B	進路選択をする際の理由や考え方に注目して発表できる。							

め (15)	普通高校：M高等学校 N附属高等学校 (2学年行事として実施予定) 職業高校：L高等学校 (校外学習として実施予定)	C 目標とするTさんのアドバイスの内容に注意して聞き取り、記入することができる。
		D 全ての項目の選択肢に○をつけ、前向きに取り組むことができる。特に先輩の進路先や中学校時代にやっておくべきことを発表できる。
		E 通常学級からの転籍生徒であるので、共通点の多いSさんの考え方から大切な部分を聞き取り、発表できる。
		<ul style="list-style-type: none"> ・発表者の意見や感想を教師が板書する。 ・ワークシートの拡大版を黒板に貼っておき、カードを貼る形での発表もありとする。【生徒A、T2】 ・答えだけでなく、DVDを見た感想や進路選択で大切だと思うことも言えるように働きかける。 <p style="text-align: right;">【T1】</p>

(4) 本時の評価

- ①卒業した先輩のインタビューを興味関心を持って視聴することができたか。
- ②進路を決める時に大切なことや、中学校時代にやっておいた方が良いことを発表することができたか。